



問い合わせ
☎947-7581

平成22年度 事業計画および予算

重点目標

「地域のつながり、支え合いを実感できる仕組みづくり」を推進し、期待され、信頼される社会福祉協議会を目指す。

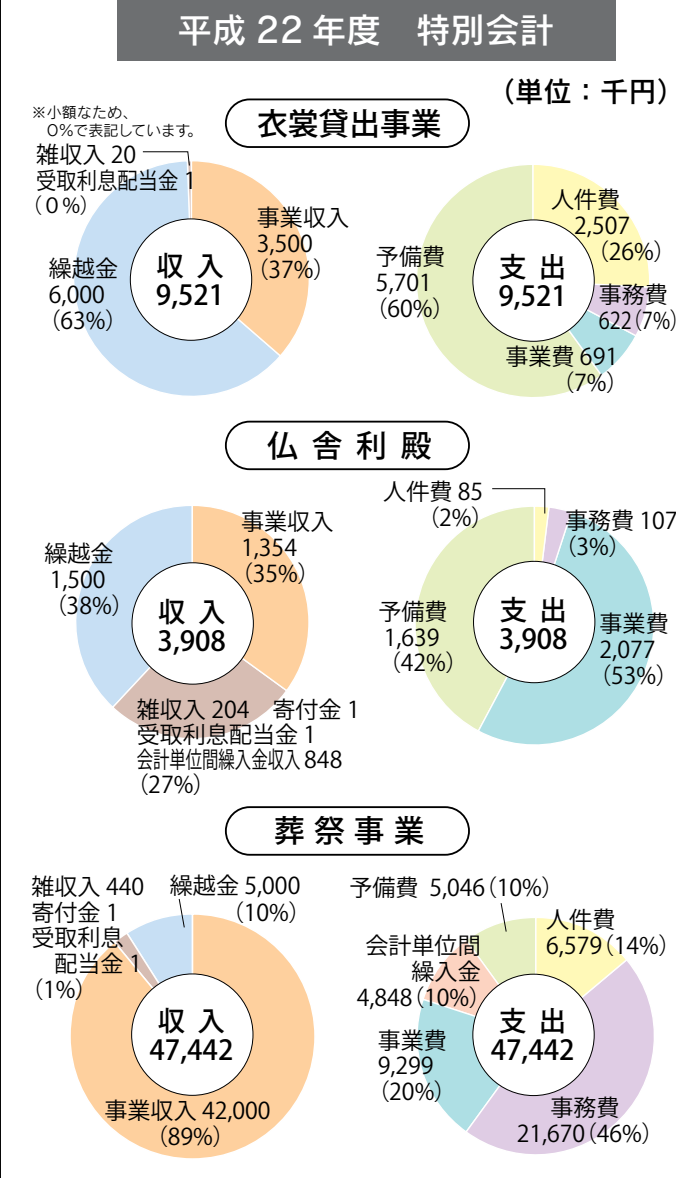
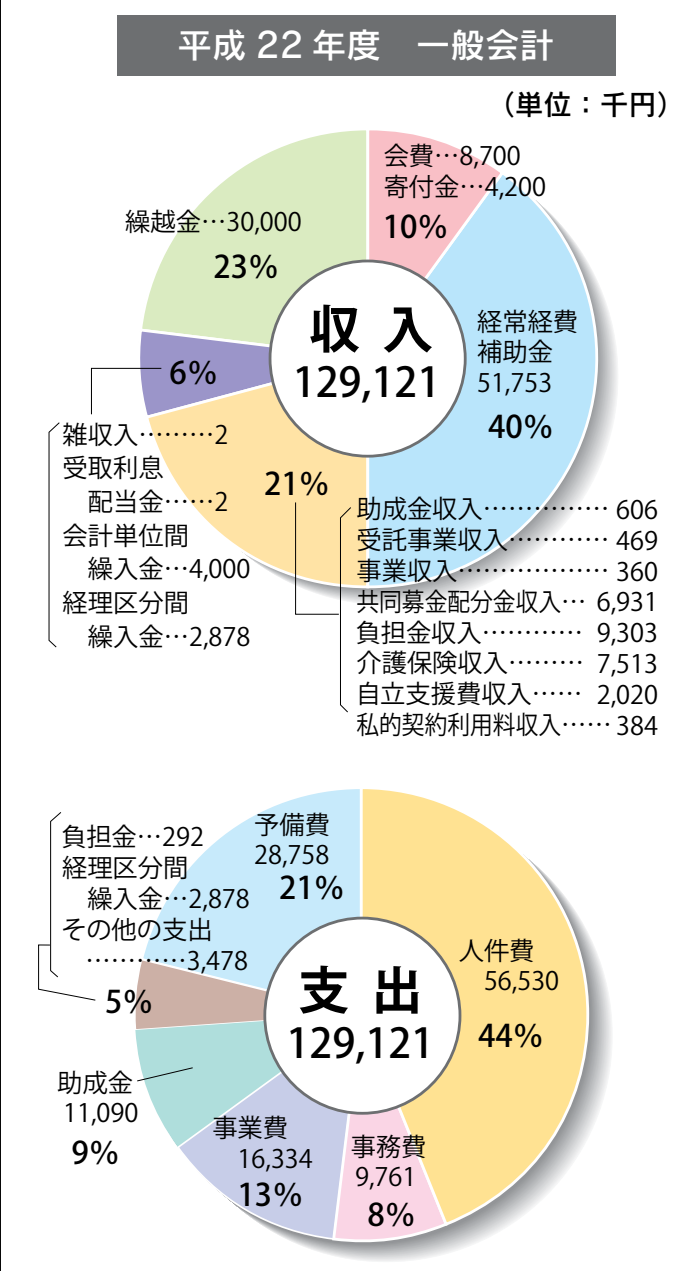
- ◎安心して生活できる地域福祉の構築
- ◎運営基盤の強化
- ◎介護保険事業等の運営の健全化
- ◎収益事業の充実強化

3月30日、理事会・評議員会が開催され、平成22年度の事業計画と予算が承認されました。

景気の低迷もやっとな不安と閉塞感が漂っています。このような状況の足取りは未だ不確かです。

人々の間には依然として「地域のつながり、地域の支え合い」というすばらしい財産を実感できる仕組みをつくり、「安心して生活できる福祉のまち篠栗づくり」をすすめるため、時代の要請に対応した住民参加による地域福祉を推進していきます。

地域福祉のなかでも小地域福祉事業の「ふれあい・いきいきサロン」やボランティア活動の推進に加え、「ふれあい・子育てサロン」や「たのしい子育て講座」を実施し、子育て世代を地域で支える仕組みづくりを推進していきます。また、家庭で家族の介護をしている方が介護の悩みを少しでも減らしリフレッシュできるよう、講座や交流会を実施します。ボランティアの担い手を養成する講座では、昨年度の「地域元氣ボランティア講座」をステップアップした「地域はつらつボランティア講座」や「認知症介護ボランティア講座」を全化に努めていきます。



平成22年度 社会福祉協議会の予算

一般会計	1億2912万1千円
特別会計	6087万1千円
衣裳貸出事業特別会計	952万1千円
仏舍利殿特別会計	390万8千円
葬祭事業特別会計	474万4千2百円

平成22年度予算は、一般会計・特別会計の合計が前年度より501万4千円の減額となりました。主な要因は、衣裳貸出事業と葬祭事業の事業収入の減額です。

生活できる福祉のまち篠栗づくりをすすめるため、時代の要請に対応した住民参加による地域福祉を推進していきます。

地域福祉のなかでも小地域福祉事業の「ふれあい・いきいきサロン」やボランティア活動の推進に加え、「ふれあい・子育てサロン」や「たのしい子育て講座」を実施し、子育て世代を地域で支える仕組みづくりを推進していきます。また、家庭で家族の介護をしている方が介護の悩みを少しでも減らしリフレッシュできるよう、講座や交流会を実施します。ボランティアの担い手を養成する講座では、昨年度の「地域元氣ボランティア講座」をステップアップした「地域はつらつボランティア講座」や「認知症介護ボランティア講座」を全化に努めていきます。

葬祭事業については、運営の透明性を強化し、サービスの向上、利用率の増加に努めていきます。

仏舍利殿納骨堂については、建設から約50年が経過し老朽化が進んでいますので、維持管理について協議検討し、安心して利用できるよう努めていきます。

主な事業実施計画

- 安心して生活できる地域福祉の構築
 - ① ふれあい・いきいきサロン
 - ② ボランティア活動
 - ③ 新規ボランティアの育成
 - ④ ボランティア養成講座
 - ⑤ 地域はつらつボランティア講座/夏休み福祉体験教室/男性いきいき講座/認知症介護ボランティア講座/傾聴ボランティア講座/色鉛筆はがき絵講座/マジックボランティア講座/こころの健康・ケア講座/手話入門講座
 - ⑥ 高齢者福祉
 - 老人クラブ連合会へ助成
 - しるばア大学
 - 老人クラブ(空き缶クリン作戦)への助成
 - ひと暮らし高齢者等の見守り/乳酸飲料配布
 - ⑦ 一般福祉サービス
 - 生活福祉資金貸付
 - 家族介護教室
 - 在宅介護者歳末助成
 - 福祉大会(年齢制限廃止)
 - 心配ごと相談(毎月2回)弁護士・司法書士・相談員
 - 福祉バスの運行
 - 初盆供養供え物配布
 - 福祉用具の貸出
 - キャンプ用テント貸出
 - もちつき道具の貸出
 - 体力測定用具貸出
 - ⑧ 広報活動
 - 広報紙「社協だより」の発行
 - ホームページの拡充
 - 行事カレンダーの発行
 - 2、運営基盤の強化
 - ① 自主財源の確保
 - 会員制度の推進
 - 共同募金運動の推進
 - ② 組織運営の機能強化
 - 理事会・評議員会の充実
 - 職員の資質向上